

目標

我々、いわき経済同友会会員は、異業種交流活動を通して、持続可能な地域経済圏をつくり、夢と希望に満ちあふれた、元気な地域社会を目指します。



4・5月号／2022年5月1日発行

三つの目的

- 一つ 元気な会社をつくろう
- 二つ 元気な人財をつくろう
- 三つ 元気な経済圏をつくろう

3月25日(金)
18:30～

3月まとめ例会

会場 生涯学習プラザ



◆ 小野代表幹事挨拶

皆さん、おばんございます。今日は年度末のお忙しい中、まとめ例会にご出席下さいましてありがとうございます。

コロナ禍の中、いわきも3回目の春を迎えました。今年度1年間、会の運営上事業活動においても大変な事が多々あっただろうと推察いたします。又、先日の地震もそうですが、自然災害等11年前の震災、原発事故を含めまして、忘れていた訳ではないのですが、忘れた頃に大きな災害が起きました。緊張感をもって準備しなくてはならないとつくづく思いました。

今日はまとめ例会ということで、今年度最後の例会ですので、皆様と親睦を深めながらの“盛大な懇親会を開催”と考えておりましたが、このような状況ですので今日は自粛させていただきました。来年度からはコロナも落ち着きを見せ、暮らしも事業も安定できるようにしたいものです。今年度のまとめ例会をいい形で終了し、引き継ぎが出来ますよう願いましてご挨拶といたします。

◆ 代表幹事年間事業報告

平和の祭典、北京オリンピック・パラリンピックが開催されているさなかに、ロシアとウクライナの戦争が始まり、また、新型コロナウイルスとの戦いは3年目を迎えております。これらのニュースは毎日、何度も何度も

報道されており、我々の生活、経済活動においても大きな影響を与えております。1日も早くこの状況が終息し、世界の平和と私達の日常に落ち着きが早く訪れる事を願っております。

さて、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の真っただ中のスタートとなりました。4月の総会をはじめ、マスコミ懇談会、JCとの共同事業、先進地視察研修、会員間の親睦事業などが中止を余儀なくされ、各グループ会・委員会・研究会においても計画通りに事業が実施できず、大変な1年だったかと思います。

一方、昨年に引き続きコロナ禍の取り組みとして、幹事会・例会・講演会などは、ZOOMやYouTubeを積極的に活用し、感染予防に配慮しながらの運営を行ってまいりました。

そんな中、第1グループ会では、合同入社式の開催やSDGsの取り組みについての勉強会を実施して頂きました。

第2グループ会では、大阪市立大学の井上先生によるコロナについての勉強会、また、内田新市長を迎えての懇談会開催、更には、真砂不動産猪狩社長によるいわき駅前開発の話など盛りだくさんの内容でした。

第3グループ会では、会員間の交流事業としてゴルフ、競輪場視察などを実施して頂きました。

第4グループ会では、なかなか移動例会ができるない状況の中で、桑折、福島で陣屋の杜公園・旧伊達郡市役所・

万正寺の大かや等の視察、また、いわき健康センターで近代マグロについての勉強会を実施いたしました。

企画総務委員会では、幹事会のスムーズな運営と会計監査、正副代表者会議、正副経験者会議、グループ編成会議、また次年度幹事予定者のオリエンテーションを開催する等、会のスムーズな運営とこれからを担う新幹事の育成にも力を入れて頂きました。

情報委員会では、FMを活用したいわき経済同友会の情報や会員企業のPR活動を実施して頂きました。

例会委員会では、コロナにより4月の定期総会が中止となるスタートとなりましたが、何とか年間で9回の例会が実施でき、良かったと思います。中でも京谷染物店のDXについて、エリア・イノベーション・アライアンス代表の木下さんによるまちづくり失敗の本質について、更には内田新市長による新しい、いわき市政の道筋等のご講演が印象的でした。

会員増強委員会では、コロナ禍の悪条件の中、積極的な勧誘活動と会員間の情報交換・連携により5名の新会員純増を実現いたしました。

中長期戦略研究会では、人口・産業・環境問題・地方と大都市という視点での意見交換やニュースピクス（ネットTV）の視聴などを中心とした活動をして頂きました。

以上、今年もまたコロナ禍での1年になりましたが、今年の活動・今年の経験がこれからのはじめに役立つものと確信しております。最後にこの環境の中で精いっぱい事業に取り組んで頂いた会員各位に衷心より感謝申し上げ、事業全体の総括といたします。

◆ 令和3年度事業報告

第1グループ会 山中 壮士郎 グループ長

- 4月「合同入社式」「新入社員研修会」
- 6月担当例会
「企業の持続的発展のためSDGs経営に取り組みましょう」
- 7月「情報提供セミナー（健康経営コロナ禍で取り組む意義）」
- 8月「情報提供セミナー（健康経営コロナ禍で取り組む意義）」
- 11月「第1グループ情報交換会」

第2グループ会 波多野 和茂 グループ長

- 4月「顔合わせ会及び7月担当例会打ち合わせ」
- 5月Zoom講話「オンライン診療の現状」

◆ 3月誕生日月プレゼント

いわき経済同友会 3月例会



左から館勇男さん（3月14日生）、小野代表幹事、徳永淳子さん（3月20日生）、遠藤慧毅さん（3月20日生）

・7月担当例会「知識を持って正しく恐れる～最新科学情報から解明するコロナの真実～」

・9月 講話「正直に生きる」

・10月 グループ会・論議

・11月 内田市長との懇談会

・12月「忘年グループ会」

・1月 講話「イトヨーカドー跡地再開発」

第3グループ会 木部 浩行 グループ長

・5月「ゴルフコンペ」

・6月 講話「医療環境問題について」

・10月「ゴルフコンペ」

・11月「視察研修」

・12月担当例会「忘年例会」

第4グループ会 山崎 勇一郎 グループ長

・7月「グループ会」

・10月「グループ会」

・11月「移動グループ会」桑折町・福島市

・12月「移動グループ会」近大マグロについて

企画総務委員会 鈴木 敏広 委員長

情報委員会 松崎 貴弘 委員長

例会委員会 徳永 淳子 委員長

会員増強委員会委員会 吉村 義和 委員長

中長期戦略研究会 小沼 郁亘 会長

詳細は会員名簿をご覧ください。



徳永淳子さん（例会委員会委員長） 小沼郁亘さん（中長期戦略研究会委員長）



山中壮士郎さん（第1グループ会委員長）

鞍田 炎さん

3月グループ会報告

第2グループ会

■日 時 3月30日（木曜日）

■場 所 イタリアンコート

今年度最後のグループ会を行いました。

現在の世界時事からいわきの経済等まで、最後ではありました熱い議論が出来たと思います。参加者も9名で、若干少なかった感も否めませんが、コロナ禍でありながら参加して頂いた皆さんの熱い気持ちには、経営者であり地元いわきを思う気持ちには、いつも尊敬と進まなければいけないと、後押しされるようでした。

会員企業合同入社式・第35回 新入社員研修会開催

4月19日(火)、いわき建設会館において会員企業合同入社式・新入社員研修会が開催されました。来賓には内田いわき市長を迎えて、激励の言葉をいただきました。新入社員を代表して磐城実業(株)小田優衣さんが力強い決意表明がありました。

入社式終了後、アルパインビジネスクリエーション甲斐和子先生による新入社員研修会が行われました。

激励の言葉 いわき市長 内田 広之 氏

皆さん、おはようございます。いわき市長の内田広之です。この度、入社誠におめでとうございます。

令和4年度、いわき経済同友会会員企業合同入社式に際しまして一言ご挨拶申し上げます。

皆様、これまで学校生活または社会人の方もいらっしゃるようですが、新社会人としてしっかり頑張って頂きたいと思います。今、新型コロナで世の中が大変な状況です。このような中、いわきに住んで、いわきで子育てをしていくこれからの方々をいわき市としてしっかりとサポートしていきたいと思います。

私は25年間東京の中央官庁にて仕事をしておりましたが、昨年故郷のいわきに戻って市長になり頑張っております。

これからいわき市を支える皆さん、今いわき市は様々な問題を抱えています。例えば医療問題、または若い人の首都圏への流出問題、災害も多いのでこれからどのように解決していくか、一生懸命に色々な課題に取り組んでいます。

いわき経済同友会の皆さんには素晴らしい組織と考えています。そんな企業に皆さんには就職される訳です。きっと皆さんを成長させてくれると思います。

最初は失敗もあるかと思いますが、“石の上にも3年”という言葉があります。最初の3年間は歯を食いしばって頑張っていくきっと先が見えてくると思います。3年間頑張れば何か身についたものができると思います。最初は辛くて失敗も多くて泣きたくなる事があるかもしれません。時には先輩の指導が厳しい事があるかもしれません。皆さんを育ててゆきたいと堅い思いで指導していると思います。

最後に、私の好きな言葉を紹介します。孔子の論語の中から“過ちて改めざるを、これを過ちという”人間だから失敗は誰でもします。大事な事は失敗の中から何を学ぶかという事が大切です。という事です。これから皆さんには社会の中で責任を任される立場になります。頑張って下さい。



第36回 4月定時総会

日 時: 4月26日(火)
場 所: パレスいわや

◆ 基本方針

2020年になり、世界は世界中に拡大した新型コロナウイルスとの戦いが始まり、感染者数2.5億人、死亡者数490万人と今尚増え続け、ウイルスと人類との戦いが続いている。二酸化炭素の増加による地球温暖化も年々深刻さを増しており、ゲリラ豪雨や台風の大型化、干ばつ、気温上昇やそれに伴う山火事など、毎日のように世界中で報告されています。

日本では、昨年、コロナ禍の中、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、我々に多くの感動を与えてくれました。

また、ワクチン接種が順調に進む傍ら、コロナ感染対策により我々の日常生活が大きく制限され、今尚、飲食業界・観光業界などをはじめとする多くの業界に影響を与え続けております。

菅政権より岸田政権に代わり、これから新しいコロナ対策やGOTOイベントなど、スポーツイベントやコンサートなど入場制限緩和をはじめ、様々な実証実験やワクチン接種パスの導入など、コロナ感染対策と経済対策を同時に進める動きも加速しております。

今後においては、早期にコロナ治療薬の開発が期待され、我々の日常が取り戻されることが期待されるところであります。

そんな中、我々いわき経済同友会は再生可能エネルギー、水素、核融合などの新たなエネルギー政策の研究やIT・デジタル技術を駆使し、DXについても積極的に取り入れていきたいと思っております。

スマートシティーやスポーツを取り入れたまちづくり、SDGs、脱炭素、カーボンニュートラルなどについても活動のテーマとしてまいります。我々はこれからの時代

に新しい技術を駆使し、新しい生活様式に沿ったまちづくり、また、社会の環境変化に適応した企業づくり、人財づくりを目指していきたいと考えております。

そして、いわき経済同友会の理念・目的に基づき、異業種交流を通じた元気な地域社会づくり、ポストコロナ時代においても進歩発展できる強い会社づくり、また経済圏づくり、更には人財づくりにも力を注いでまいります。

1. グループ会方針

昨年に引き続き4グループで構成し、各グループ会にはポストコロナ時代を生き抜くための施策、エネルギー・環境問題、人手不足に対応するためのIT・DXの社内定着、または、いわきの特性を生かしたまちづくりに注力してまいります。

また、各グループ会は年1回グループ会を企画担当する。



◆ 4月誕生日月プレゼント



左から小野代表幹事、坂本和久さん(4月29日生)

2. 研究会活動方針

今年度も研究会は1つとし、大きな意味で活力あるいはわきを創る施策を研究し、提言を行う。また、必要に応じ、活気に満ち溢れたいわき経済同友会活動を行うために話し合い幹事会へ提言を行う。

3. 委員会方針

会員とのコミュニケーションを良くする為に、4委員会を設置しそれぞれの役割の中で活動していきます。

4. 観察研修会方針

コロナ感染者数・治療薬の開発・観察研修先の環境などを含め、条件が整えば実施したいと思います。

5. 対外活動

行政や様々な団体と交流・連携を図り、地域力強化をはかります。

詳細は会員名簿をご覧ください。

5月グループ会報告

第2グループ会

■日 時 5月9日(月曜日)
■場 所 文化センター

初顔合わせならびに、5月通常例会の確認及び役割決め。5月例会につきまして、リアルにて開催、質疑応答の是非、進行の確認の他、佐藤事務所にタイムスケジュールの確認報告等の必要事項の再確認を行った。

11月創立記念例会の人選についてを検討伺い。

懇親会では、今後の熱い思いを論議できた。

いわき経済同友会 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発 行 いわき経済同友会 小野賢司代表幹事
編 集 情報委員会 委員長 松崎貴弘
副委員長／遠藤彗毅・小野嘉子・坂本和久
松尾幸治・宮野由美子